

2月 6-12日

歴代第一 10-12章

94番の歌と祈り

開会の言葉（1分）

神の言葉の宝

「神の望まれることを行いたいという気持ちを強める」（10分）（米山 英行）

宝石を探し出す（10分）（阿部 直生）

代一 12:33 ゼブルン族で、あらゆる武器を持って戦闘隊形を組み、兵役に就ける人が5万人。皆、ダビデを搖るぎなく支持し(*から離れず)，加勢した。

ゼブルン族の男性5万人はどんな手本を示したか。

（洞-1 1222 ページ 5-6 節）「全き心」をもって仕える文字通りの心臓は正常な働きをするためには無傷の状態でなければなりませんが、比喩的な心臓つまり心は分かたれる場合があります。ダビデは、「あなたの名を恐れるようわたしの心を一つにしてください」と祈り、人の心が愛情や恐れの点で分かたれる場合のあることを示唆しています。（詩 86:11）そのような人は神を崇拜する点で「中途半端な（英文字義、心が半分の）」、つまりなまぬるい人かもしれません。（詩 119:113；啓 3:16）また、人は「二心」（字義、心と心とをもって）になって、二人の主人に仕えようしたり、言うことと考えることをたがえて人を欺く場合もあります。（代一 12:33；詩 12:2，脚注）イエスは二心のあるそのような偽善を厳しく糾弾されました。—マタ 15:7, 8。

神を喜ばせようと努める人は中途半端であったり二心であったりしてはならず、全き心をもって神に仕えなければなりません。（代一 28:9）心は必死になり、悪に傾くものなので、そうするには勤勉な努力が必要です。（エレ 17:9, 10；創 8:21）全き心を保つ助けとなるのは、①心から祈ること（詩 119:145；哀 3:41），②神の言葉を定期的に研究すること（エズ 7:10；箴 15:28），③良いたよりを宣べ伝える業に熱心にあずかること（エレ 20:9と比較），④およびエホバに対して全き心を抱く人々と交わることです。—王二 10:15, 16と比較。

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

（講話/10:13-14）実際にイスラエルの最初の王サウルが靈媒師に相談し心霊術に関わったことも命を落と原因となり、心霊術が如何に危険なものであるかの実例として、この部分を宣教で用いていきたい。

さらに啓示 21:8 なども紹介して、聖書全体でも心霊術の恐ろしさを強調しているのは、それが、サタンが人々を騙し自分たちと関係を持たせる**強力な道具**だからである、ということも伝えたい。

聖書朗読（4分）代一 11:26-47（教励 第5課）（河野 正和）

野外奉仕に励む

最初の話し合い（3分）話し合いのサンプルの話題に沿って話す。聖書レッスンを勧める。（教励 第12課）（横山 さち子 12 大谷 恵美子）

再訪問（4分）話し合いのサンプルの話題に沿って話す。「聖書レッスンのご案内」の動画を紹介し、話し合う。（再生はしない）（教励 第6課）（水晶 由美子 6 福永 悅子）

聖書研究（5分）暮 レッスン 09 序文と副見出し 1-3（教励 第18課）（金刺由里子 18 田島智子）

クリスチャンとして生活する

97番の歌

「神の考え方を学ぶよう努力しましょう」（10分）討議。動画を視聴する。（佐藤 貴之）

「記念式の時期に向けて目標を立てる」（5分）討議。（五味 統）

会衆の聖書研究（30分）暮 レッスン 37 副見出し 1-5（吉田 忍）

閉会の言葉（3分）

91番の歌と祈り

▲（代一 10:1-12:40） フィリスティア人はイスラエルと戦っていた。イスラエルの人たちはフィリスティア人から逃げ、多くがギルボア山で殺されて倒れた。 2 フィリスティア人はサウルとその子たちに迫っていました。そしてサウルの子ヨナタン、アビナダブ、マルキ・シェアを討った。 3 サウルへの攻撃が激しくなり、弓を射る人たちに見つかったサウルは撃たれ、傷を負った。 4 サウルは武器を運ぶ従者に言った。「剣を抜き、私を刺し通してくれ。あの割礼*を受けていない者たちにむごく扱われるのはごめんだ」。しかし従者は恐れのあまり、そうしようとしなかった。それでサウルは剣を取って、その上に突っ伏した。 5 従者もサウルが死んだのを見て、剣の上に突っ伏し、死んだ。 6 こうして、サウルと3人の息子は死に、サウル家のひとたちは皆、共に死んだ。 7 谷*にいたイスラエルの民は皆、誰もが逃げ去ったこと、サウルと息子たちが死んだことを知ると、自分の町を捨てて逃げ始めた。その後フィリスティア人がやって来て、そこを占領した。 8 翌日、フィリスティア人が戦死者から物品を剥ぎ取ろうとして来てみると、サウルと息子たちがギルボア山で倒れていた。 9 そこで彼らはサウルから物品を剥ぎ取り、首と武具を取った。そしてフィリスティア人の領土中に人を送り、彼らの偶像や民に知らせを伝えた。 10 それからサウルの武具を彼らの神の家*に置き、首はダゴンの家に掛けた。 11 ギレアデのヤベシュの人々はフィリスティア人がサウルにしたことを全て聞くと、 12 戦士たちが皆立ち上がって、サウルの遺体と息子たちの遺体を運び出し、ヤベシュに持ってきて、骨をヤベシュにある大木の下に葬り、 7 日間断食をした。 13 こうしてサウルは死んだ。エホバの言葉に従わず、エホバに不忠実だったからである。また、靈媒師に相談し、 14 エホバに尋ねなかつたからである。それで神は彼を死に至らせ、王権をエッサイの子ダビデに渡した。



神の言葉の宝

神の望まれることを行いたいという気持ちを強める

サウルは不従順だったのでエホバに退けられた。 ([代一 10:13, 14](#))

エホバはサウルの代わりにダビデを王とした。 ([代一 11:3](#))

サウルとは異なり、ダビデはエホバの律法と原則に沿って行動するようにした。 ([代一 11:15-19](#)。[塔 12 11/15 6 ページ 12-13 節](#))

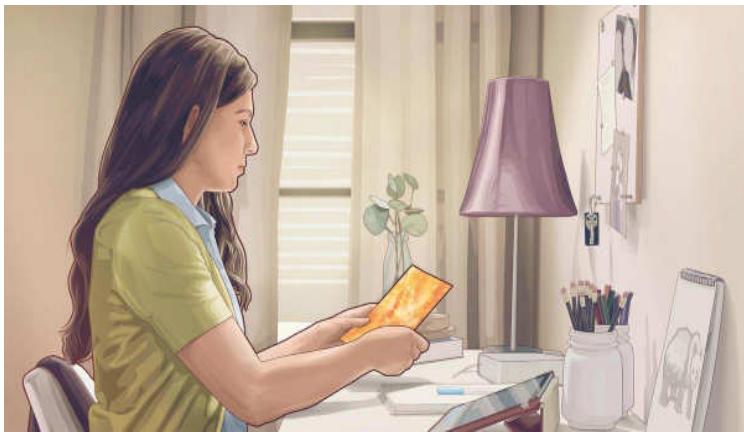
ダビデは神の望まれることを行いたいと思っていた。 ([詩 40:8](#)) 私たちも、エホバの見方を学び、それに倣うよう努力することによって、正しいことを行いたいという気持ちを強めることができる。 ([詩 25:4](#)。[塔研 18.06 17 ページ 5-6 節](#))

^([代一 10:13, 14](#)) こうしてサウルは死んだ。エホバの言葉に従わず、エホバに不忠実だからである。また、靈媒師に相談し、14 エホバに尋ねなかったからである。それで神は彼を死に至らせ、王権をエッサイの子ダビデに渡した。

^([代一 11:3](#)) イスラエルの長老全員がヘブロンにいる王のもとに来た。ヘブロンでダビデはエホバの前で彼らと契約を結んだ。エホバがサムエルを通して語った通り、彼らはダビデに油を注いで*イスラエルの王とした。

用語集の「油を注ぐ」参照。

^([代一 11:15-19](#)) 30人の長のうちの3人が岩山に行き、アドラムの洞窟にいるダビデの所に来た。その時、フィリストニア人の軍隊がレファイムの谷*で宿営していた。 16 ダビデは隠れがに



クリスチャンとして生活する

神の考え方を学ぶよう努力しましょう

私たちは、エホバに喜ばれることをいつも行いたいと思っています。（[格 27:11](#) わが子よ、賢くあって、私の心を喜ばせよ。私をあざける(*に挑む)者に私が答えるためである）そのためには、はつきりとした指示がない場合でも、エホバの考え方によわせた決定をする必要があります。どんなことが助けになりますか。

①聖書を学ぶことを習慣にする。私たちが聖書を読む時、エホバと一緒に時間を過ごすことになります。エホバがどのようにご自分の民を扱われたかについて考え、エホバの目に良いことを行った人と悪いことを行った人の例について調べるなら、エホバの考え方を学ぶことができます。そうすれば、決定が必要な時に、神の言葉から学んだ大切な教訓や原則を聖なる力が思い起こさせてくれます。（[ヨハ 14:26](#) しかし、父が私の名によって遣わす援助者つまり聖なる力が、あなたたちに、全てのことを教えるとともに、私が話した全てのことを思い起こさせます）

②調査する。何かを決定する時、こう自問してみてください。「エホバはどう感じるだろうか。それを知るために役立つ聖書の言葉や記述があるだろうか」。助けを求めてエホバに祈り、リサーチツールを活用して調査しましょう。そうすれば、自分の状況に当てはまる聖書の原則を見つけることができます。（[詩 25:4](#) エホバ、あなたの道を知らせてください。その道をどう歩むべきかを教えてください）

「『忍耐して走ろう』栄養のあるものを食べて」の動画を見て次の質間に答える。

1. ある若い姉妹はどんなことを圧力に感じていましたか。

進化が事実とする学校の授業。進学を勧める進路指導。部活の誘い。

2. 同じような圧力に対処するために、リサーチツールをどのように活用できますか。

特定のテーマに沿った情報をリサーチツールを使って調べ、整理し適用する。

3. 良い決定をするために時間を取って調査し、個人研究するなら、どんな良いことがありますか。（[ヘブ 5:13, 14](#) いまだに乳を飲んでいる人は皆、幼い子供であり、神の正しい言葉をよく理解していません。一方、固い食物(*よくかんで食べる物)は、十分に成長した人(*大人)のためのものです。そのような人は、使うことによって識別力(*知覚力)を訓練したので、正しいことも悪いことも見分けることができます）

深く掘り下げて考えたとき、意味深い答えを見出し、その答えが信仰を強くし、良い決定をくだす助けになる。（以上）

クリスチャンとして生活する

記念式の時期に向けて目標を立てる

毎年、エホバに仕える人たちは記念式に出席することを楽しみにしています。記念式の時期は、エホバを賛美し、贖いという贈り物への感謝を表す特別な機会になります。（エフェ 1:3 私たちの主イエス・キリストの父である神が賛美されますように。神は、キリストと結ばれた私たちに、聖なる力*によって天でのさまざまな祝福を与えてくださっているからです。7 その豊かな惜しみない親切のおかげで、私たちはキリストの血によって贖われ*、解放されています。過ちを許されているのです）それで私たちは、記念式に他の人を招待するために熱心に働きます。自分の予定を調整して、3月か4月に30時間か15時間の補助開拓奉仕を行えるようにする人もいます。あなたは記念式の時期にエホバへの奉仕をもっと行いたいと思いますか。そうするためにどんなことが助けになるでしょうか。

たいていの場合、前もって計画するなら、より多くのことを達成することができます。（格 21:5 勤勉な人の計画は必ず成功(*良いこと)につながり、せっかちな人は必ず貧乏へと向かう）記念式の時期が近づいている今こそ、計画を立て始めるのに良い時と言えます。この時期に宣教をもっと行うために何ができるか、また、目標を達成するにはどんなことが必要かをよく考えましょう。そして、努力を祝福していただけるようエホバに祈りましょう。（ヨハ一 5:14, 15 私たちは神について次の確信を持っています(*私たちは気後れせずに神に語り掛けることができます)。神は、私たちが神の意志に沿って願い求めることは何でも聞いてくださるのです。15 また私たちは、願い求めるごとを神が聞いてくださることを知っているので、神に願い求めたならそのことはかなえられる、と確信しています）

記念式の時期にエホバへの奉仕をもっと行うために、どんなことができますか。

目標: 最初/再訪問で実際に口頭で100件招待（招待ビラを渡せたか/お相手の反応に関わらず）

達成するために： 1時間の野外奉仕で少なくとも3人を招待するようにし、記録する

^(エフェ 1:3) 私たちの主イエス・キリストの父である神が賛美されますように。神は、キリストと結ばれた私たちに、聖なる力*によって天でのさまざまな祝福を与えてくださっているからです。

用語集参照。

^(エフェ 1:7) その豊かな惜しみない親切のおかげで、私たちはキリストの血によって贖われ*、解放されています。過ちを許されているのです。